

三重県人会55周年に向けて

教育は機会均等であるべき



教育について熱く語る山本代表＝東京都世田谷区成城のeisugroup経営企画本部で

eisugroup 山本千秋代表



東京から三重へ送る

県内を中心に進学塾、大は導く、進路指導を専門とする進学予備校の運営などを行ってきた。それで私は決断し、eisugroupから、次の世代に引き継ぐ。同社は、山本代表が昭和四十一年に立ち上げた。何かがゼロから立ち上げた。鈴鹿英学院が前身。少子化が進む中で、今では東海、首都圏へと拡大を遂げ、有力企業に成長を遂げている。

絶えず変化続ける 日本一、質の高い塾に

日本一、質の高い塾に



ふるさと三重の思い出を語る山本代表＝東京都世田谷区成城のeisugroup経営企画本部で

＜略歴＞
山本 千秋（やまもと ちあき）1941年8月25日生まれ、鈴鹿市出身。早稲田大教育学部英語英文科卒業、約1年間の商社勤務を経て65年鈴鹿英学院設立。84年株式会社化し代表取締役就任、その後いすゞ総研、えいすうメディア、エイズを設立し、代表取締役就任。97年より首都圏に進出。本年度から在宅で学べる「eドリル」を全国展開し、現在に至る。

重たいのですが、二百ほどになる。もう東京に戻りたくありません。東京は情報が多く刺激があり、それが仕事にもつながっていると思っています。

「若くして起業し、苦労四年には法人化し、津日本にされたことも多かったのでは？」
山本 当初、小学生から社会人まで三十六人集まり、一人だけだったから危なっかしいが、彼らが来てくれたおかげで、腰を据えてやるという責任感が出てきました。

「現状に甘んじず、常に変化を続けることが重要」と説く山本代表に、これまでの軌跡や三重に対する思いなどを聞いた。

「現在、東京に住んでおられますが、三重を離れた訳をお聞かせください。」
山本 九七年に居住を鈴鹿から東京へ移しました。

「eisugroupを立ち上げるきっかけを教えてください。」
山本 大学を卒業して商社勤務しました。大阪に配属されたのですが、自分は勝手で、こういう組織

「高校時代の恩師に言われた『水は低きに流れ、教育は高きに流れる』という言葉が原点にあります。やる以上は、日本一、教育の質の高い塾にしたいと思っていました。」
「四十四年間継続されて探しました。そして一九六五年四月にたった二人で鈴鹿英学院を開いたのです。その後、やがてなりました。」
「四十四年間継続されて探しました。そして一九六五年四月にたった二人で鈴鹿英学院を開いたのです。その後、やがてなりました。」